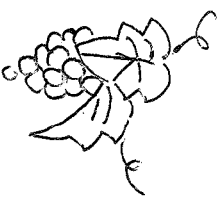


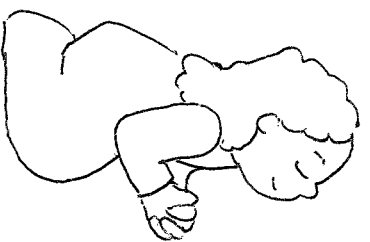
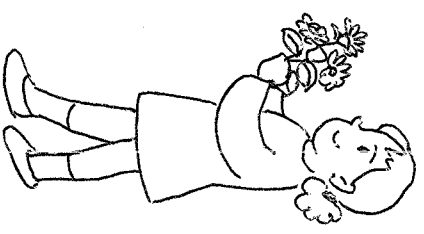
いずみのひろば

2021年3月号
日本基督教団 聖公会
No. 506 教会学校

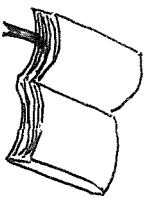
『国と力と榮とは限りなく汝のものなればなり』 黙示録19：1～4



神さまはわたしたちのことが大好きです。神さまはわたしたちのお祈りの声を聞きたいな、と思っておられます。だからわたしたちに「主の祈り」をくださって、どうぞお祈りしたら良いか教えてくださいました。「主の祈り」をそのまま「わたしの祈り」としてお祈りしていいんだよ、と教えてくださいました。



「目角の糧を与えたまえ」「慰よりすくいだしたまえ」とおいのりしながら、気がつく事があります。「神さまがわたしに毎日食べる物をくださって元気に育ててくださっているんだ」、「わたしを神さまから引き離そうとする悪い思いから、神さまがわたしを守ってくださって、今日も教会学校に来ることができたんだ」。神さまは本当にわたしたちのお祈りを聞いてくださって、いつもわたしたちを大事にしてくださっているのだときづかされます。このように、神さまのしてくださったことをいついつ嬉しく思い浮かべて飛びだした賛美の言葉が、主の祈りの一番最後の言葉です。



病気の時に、あるいは本当にどうしていいかわからなくて不安な時に、苦しいときに、悲しいときに、でも、この神さまがいてくださる、この神さまにお祈りができる、これは、本当に素晴らしいお恵みです。

主の祈りは、わたしたちに勇氣と平安を与えてくれる、イエスさまの教えてくれた素晴らしいお祈りです。